

「四国遍路と世界の巡礼」研究会の研究成果について

「四国遍路と世界の巡礼」研究会代表 内田九州男

私たちの「四国遍路と世界の巡礼」研究会は平成12（2000）年の夏に結成されました。その目的は研究会の名前になっている四国遍路と世界の巡礼についての研究を進め、地域の課題の解明に幾ばくかの貢献をすることにあります。翌年からはその助走として「四国遍路と世界の巡礼」をテーマに公開講座を開きました（その後は法文学部開放講座「四国遍路と世界の巡礼」と冠をつけて愛媛県下の自治体の協力を得て講座を開いてきました）。

平成14年度に「四国遍路と世界の巡礼—人的移動・交流とその社会史的アプローチ—、平成14～16年度科学研究費補助金（基盤研究（B）科研費、代表内田九州男）」が採択されて研究活動を本格化させることができました。その後「四国遍路を中心とした日本・世界の巡礼の総合的研究」（平成16～18年度、代表寺内浩）が愛媛大学研究開発支援経費・特別推進研究に採択され、さらに19年度には「四国遍路と世界の巡礼、その歴史的諸相の解明と国際比較 平成19～21年度科学研究費補助金（基盤研究（B）科研費、代表内田九州男）」が採択されて研究を継続できました。また平成19年度には「四国遍路を中心とした日本・世界の巡礼の総合的研究」が学内COE育成支援研究に採択されました。さらに法文学部人文系担当学部長裁量経費にも平成19年度から連続採択されてきました。また平成17年度には福武学術文化振興財団から研究助成金を与えられました。

一方研究成果の発表・公開では、平成15（2003）に公開シンポジウムを初めて開催し、その成功に力を得て以後毎年国内シンポジウムあるいは国際シンポジウムという形で公開シンポジウムを続けてきました。この公開シンポは平成21年度で7回になりました。また平成19年度から始めた「四国遍路と世界遺産」シリーズの講演会は、19・20年度の両年度で6回実施し、学外の著名な講師の方々にも多忙なスケジュールの中で御来演をいただきました。この講演会は大変好評で参加者は合計1020名にも上り、世界遺産への関心の高さが伺えました。

次に刊行物について述べます。こうした貴重な資金を得て行う研究であるからには、その成果を眼に見える形にし、かつそれを広く普及し、さらに定着させる方法をとる必要があると判断し、大きな取組の後には必ず印刷物（報告書等）を作成することを申し合わせました。その種類としては、シンポジウム報告要旨集（プロシーディングズ）、科学研究費報告書、学内の開発支援経費関係報告書、資（史）料紹介冊子等です。こうして刊行した印刷物は12冊（平成15～20年）にも達しました。掲載したものは、講演記録、シンポジウム報告、研究会発表、等々大小様々ですが、合計111本にも及びました。内容面においても、国内では四国遍路を初め、さまざまな巡礼・参詣関係、また外国ではヨーロッパ、アジア、アメリカと各地の巡礼関係をカバーしています。私共の研究会の依頼に応じて愛媛大学で講演あるいは研究報告に、蘊蓄を傾け熱弁をふるい、かつ原稿を執筆してくださったすべての方々のご協力がなかったら達成できなかった成果であり、心からの感謝をいたすところです（表1、表2参照）。

最後に刊行した印刷物を示しておきます。なお（ ）内の略記は後掲の表で利用しています。

- 『四国遍路と世界の巡礼平成15年度愛媛大学国内シンポジウムプロシーディングズ』（略称<H15年度プロ>）
- 『四国遍路と世界の巡礼平成16年度愛媛大学国際シンポジウムプロシーディングズ』（略称<H16年度プロ>）
- 『平成17年度愛媛大学研究開発支援経費[特別推進研究]四国遍路と世界の巡礼—アジアの巡礼—公開シンポジウムプロシーディングズ』（略称<H17年度プロ>）
- 『平成18年度愛媛大学研究開発支援経費[特別推進研究]現代の巡礼—四国遍路と世界の巡礼—公開シンポジウムプロシーディングズ』（略称<H18年度プロ>）
- 『巡礼と救済—四国遍路と世界の巡礼—公開シンポジウム・研究集会プロシーディングズ 付録1第1回宿研究会参加記 付録2海外現地調査報告』（略称<H19年度プロ>）
- 『第1回四国地域史研究大会—四国遍路研究前進のために—公開シンポジウム・研究集会報告書』（略称<H20年度プロ>）
- 『四国遍路と世界の巡礼、その歴史的諸相の解明と国際比較 活動紹介』（略称<H20年度活動紹介>）
- 『四国遍路と世界の巡礼—人的移動・交流とその社会史的アプローチ—平成14～平成16年度科学研究費補助金（基盤研究（B）（2）研究成果報告書』（略称<H14～16年度科研報告書>）

- 『四国遍路を中心とした日本・世界の巡礼の総合的研究 平成19年度 報告書』（略称<H19年度報告書>）
- 『四国遍路を中心とした日本・世界の巡礼の総合的研究 平成20年度 報告書』（略称<H20年度報告書>）
- 『四国遍路の研究—歴史的諸相と瀬戸内交通—（資料編）』（平成19年3月刊）
- 『資料紹介・『奉納四国中辺路之日記』』（平成20年3月刊）
- 『四国遍路と世界の巡礼』（法蔵館）を平成19（2007）年に出版しましたが、これも研究会の研究成果を結集した共著ですので、各論文は研究会メンバーの業績として掲げました。

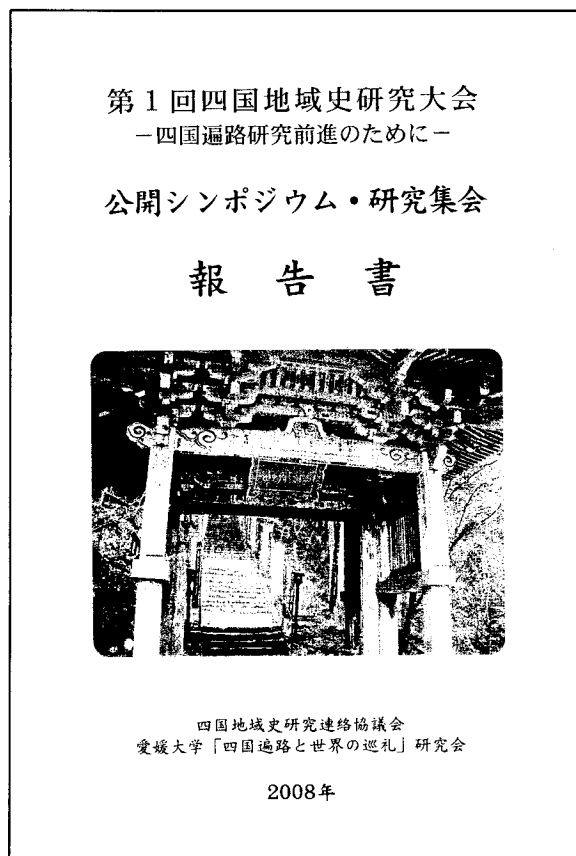
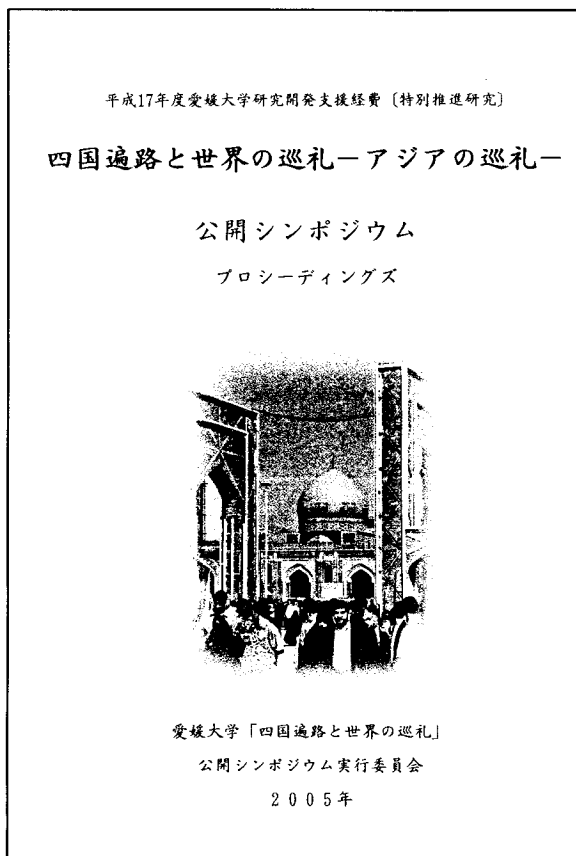


表1 研究一覧・年度順

番号	タイトル	著者	所属	年度	地域・種別	収録報告書等
2003年						
1	遍路と巡礼ーその構造比較ー	小嶋博巳	ノートルダム清心女子大学	2003	全般	H15年度プロ
2	願掛け・参詣・遍路(巡礼)	内田九州男	愛媛大学	2003	日本	H15年度プロ
3	ゲミレル島遺跡と巡礼活動	中谷功治	関西学院大学	2003	ヨーロッパ	H15年度プロ
4	中国の霊山と癒し	加藤 國安	愛媛大学	2003	アジア	H15年度プロ
5	問題提起	渡邊昌美	高知大学名誉教授・西洋中世史	2003	ヨーロッパ	H15年度プロ
6	四国遍路の形成について	寺内浩	愛媛大学	2003	日本	H15年度プロ
7	中世の寺社参詣と地方権力	川岡勉	愛媛大学	2003	日本	H15年度プロ
8	近世演劇に見る順礼の諸相	河合眞澄	大阪女子大学	2003	日本	H15年度プロ
9	納経帳から見た幕末から明治初期の遍路道の変更	稲田道彦	香川大学	2003	日本	H15年度プロ
10	近世期の『へんろ』と村社会-往来手形と日記を通して-	山本秀夫	香川県立文書館	2003	日本	H15年度プロ
11	阿波の巡礼とその資料	長谷川賢二	徳島県立博物館	2003	日本	H15年度プロ
12	イングランド宗教改革と巡礼の消滅	吉田正広	愛媛大学	2003	ヨーロッパ	H15年度プロ
2004年度						
13	「四国辺路」異見	西耕生	愛媛大学	2004	日本	H14~16年度科研報告書
14	十返舎一九作『金草鞋』「第十四編四国偏路」についてー『四国偏礼道指南増補大成』との関連を中心にー	神楽岡幼子	愛媛大学	2004	日本	H14~16年度科研報告書
15	成尋の天台山・五台山巡礼と宋朝の対応	高橋弘臣	愛媛大学	2004	アジア	H14~16年度科研報告書
16	古代の民衆交通ー古代国家の交通規制と民衆の交通権についてー	松原弘宣	愛媛大学	2004	日本	H14~16年度科研報告書
17	中国古代の旅と巡礼	藤田勝久	愛媛大学	2004	アジア	H14~16年度科研報告書
18	霊山と癒しー中国の南岳をめぐるー	加藤國安	愛媛大学	2004	アジア	H14~16年度科研報告書
19	モンゴル時代の交通ネットワークと巡礼ーイスラーム世界とのかかわりを中心にー	矢澤知行	愛媛大学	2004	アジア	H14~16年度科研報告書
20	スペイン植民地都市マニラ・ビノンドの中国人とカトリック信仰	菅谷成子	愛媛大学	2004	アジア	H14~16年度科研報告書
21	講演：時間と空間からみた巡礼の世界	ジャン・シェリーニ	エクサンプロヴァンス大学法律宗教史研究所	2004	全般	H16年度プロ
22	近世の巡礼者たちー往来手形と身分ー	内田九州男	愛媛大学	2004	日本	H16年度プロ
23	講演：私と四国遍路研究	ナタリー・クワメ	フランス国立東洋言語文化研究所	2004	日本	H16年度プロ
24	古代ギリシアのエピダウロス巡礼ーアスクレピオスの治療祭儀	山川廣司	愛媛大学	2004	ヨーロッパ	H16年度プロ
25	20世紀イングランドにおける巡礼の復活ーウォルシンガムの聖母ー	吉田正広	愛媛大学	2004	ヨーロッパ	H16年度プロ
26	観光としてのサンティアゴ巡礼	関哲行	流通経済大学	2004	ヨーロッパ	H16年度プロ
27	霊山と癒しー中国の南岳をめぐるー	加藤國安	愛媛大学	2004	アジア	H16年度プロ
28	六十六部廻国とその巡礼地	小嶋博巳	ノートルダム清心女子大学	2004	日本	H16年度プロ
29	平安時代の四国遍路	寺内浩	愛媛大学	2004	日本	H16年度プロ
30	遍路と村社会ー送りと迎への論理からー	山本秀夫	香川県立文書館	2004	日本	H16年度プロ
31	平安文学語彙にみる「辺路(へぢ)」の周辺	西耕生	愛媛大学	2004	日本	H16年度プロ
32	浄瑠璃に見る四国遍路と巡礼	河合眞澄	大阪女子大学	2004	日本	H16年度プロ
33	四国遍路の巡礼路の景観の特徴	稲田道彦	香川大学	2004	日本	H16年度プロ
34	コメント日本史	川岡勉	愛媛大学	2004	日本	H16年度プロ
35	コメント東洋史	矢澤知行	愛媛大学	2004	アジア	H16年度プロ
36	コメント西洋史	関哲行	経済流通大学	2004	全般	H16年度プロ
2005年度						

番号	タイトル	著者	所属	年度	地域・種別	収録報告書等
37	イスラームの参詣と巡礼ーエジプトの聖墓参詣を中心にー	大稔哲也	九州大学	2005	アジア	H17年度プロ
38	カイラス巡礼-宗教的見地からー	黒木幹夫	愛媛大学	2005	アジア	H17年度プロ
39	四国遍路と作法の変遷	内田九州男	愛媛大学	2005	日本	H17年度プロ
40	伝統中国の巡礼ー宋元時代における接待・施水庵の展開ー	石川重雄	東洋大学	2005	アジア	H17年度プロ
41	コメント	関哲行	流通経済大学	2005	全般	H17年度プロ
42	東南アジアの港市国家におけるイスラームの展開と巡礼ー	弘末雅士	立教大学	2005	アジア	H17年度プロ
43	スペイン領フィリピンにおけるカトリック信仰	菅谷成子	愛媛大学	2005	アジア	H17年度プロ
44	モンゴル時代のチベット仏教に関する研究史的考察	矢澤知行	愛媛大学	2005	アジア	H17年度プロ
45	現代における外国人の目から見た四国遍路	ディビット・モートン	徳島文理大学	2005	日本	H17年度プロ
46	遍路宿の建築調査よりー伝えるべき歴史文化財ー	犬伏武彦	松山東雲短大	2005	日本	H17年度プロ
2006年度						
47	現代の四国遍路ー道空間の視点からー	河野昌広	早稲田大学	2006	日本	H18年度プロ
48	聞き取り調査より探る現代の四国遍路	竹川郁雄	愛媛大学	2006	日本	H18年度プロ
49	現代ツーリズムと四国遍路ー「まちづくり」「アウトドア」への展開	野崎賢也	愛媛大学	2006	日本	H18年度プロ
50	響振する苦しみーある女性遍路にみる<救い>の構築プロセス	浅川泰宏	明治大学	2006	日本	H18年度プロ
51	フレデリック・スタール（お札博士）と四国遍路	ディビット・モートン	徳島文理大学	2006	日本	H18年度プロ
52	四国遍路における接待の「援助性」ー文政期・天保期を中心にー	井原恒久	愛媛県立新居浜西高等学校	2006	日本	H18年度プロ
53	県下の公共資料館などが所蔵する四国遍路関係資料ーその保存と活用ー	宮瀬温子	愛媛県歴史文化博物館	2006	日本	H18年度プロ
54	高知県の町（旧本川村）所在鰐口銘文の紹介と検討ー八十八ヶ所成立論根拠資料の再吟味ー	内田九州男	愛媛大学	2006	日本	H18年度プロ
2007年度						
55	熊野参詣路の庶民扶助について	鈴木景二	富山大学	2007	日本	H19年度プロ
56	西国巡礼ーその歴史と信仰ー	北川央	大阪城天守閣	2007	日本	H19年度プロ
57	コメント：四国遍路の観点から	内田九州男	愛媛大学	2007	日本	H19年度プロ
58	古代末期のキリスト教巡礼の諸相	足立広明	奈良大学	2007	ヨーロッパ	H19年度プロ
59	中世ヨーロッパのキリスト教巡礼ー聖地と救済ー	山代宏道	広島大学	2007	ヨーロッパ	H19年度プロ
60	済州4・3をめぐる巡礼ー無辜な死を悼む旅路ー	伊地知紀子	愛媛大学	2007	アジア	H19年度プロ
61	歩くことの効用について考えるー生理学的知見からー	浅井英典	愛媛大学	2007	日本	H19年度プロ
62	近世後期における四国遍路の数量的考察ー於仏木寺接待の分析ー	井上淳	愛媛県歴史文化博物館	2007	日本	H19年度プロ
63	「巡礼と救済ー四国遍路と世界の巡礼ー」シンポジウム・研究集会に参加して	浅川泰宏	明治大学	2007	日本	H19年度プロ
64	「接待」考ーシンポジウムに寄せてー	石川重雄	東洋大学	2007	アジア	H19年度プロ
65	巡礼と救済ー四国遍路とその他の巡礼との比較の視点からー	河野昌広	早稲田大学	2007	日本	H19年度プロ
66	巡礼：理想的な世界	ディビット・モートン	徳島文理大学	2007	日本	H19年度プロ
67	「中国杭州市域における宋代史跡ならびに“天竺進香”調査報告」につ	石川重雄	東洋大学	2007	アジア	H19年度プロ
68	海外調査報告：Canterbury Walsingh Elyを訪ねて	木下卓	愛媛大学	2007	ヨーロッパ	H19年度プロ
69	海外調査報告：第一次世界大戦戦没者追悼と巡礼ーロンドン「大巡礼」とイーブル「戦場巡礼」	吉田正広	愛媛大学	2007	ヨーロッパ	H19年度プロ
70	海外調査報告：古代ギリシアの巡礼地歴訪	山川廣司	愛媛大学	2007	ヨーロッパ	H19年度プロ
71	講演：石見銀山の世界遺産登録と学術研究	脇田晴子	城西国際大学	2007	日本	H19年度報告書

番号	タイトル	著者	所属	年度	地域・種別	収録報告書等
72	講演：世界遺産を巡る諸動向	岡田保良	国士館大学	2007	全般	H19年度報告書
73	海外調査報告：サンティアゴ巡礼調査の日程およびその概要	山川廣司	愛媛大学	2007	ヨーロッパ	H19年度報告書
74	海外調査報告：サンティアゴ・デ・コンボステラと大聖堂	菅谷成子	愛媛大学	2007	ヨーロッパ	H19年度報告書
75	海外調査報告：サンティアゴ巡礼調査に参加して－その仕組みを考える	内田九州男	愛媛大学	2007	ヨーロッパ	H19年度報告書
76	史料紹介：遍路絵図	内田九州男	愛媛大学	2007	日本	H19年度報告書
77	史料紹介：資料紹介・『奉納四国中辺路之日記』	内田九州男	愛媛大学	2007	日本	資料紹介・『奉納四国中辺路之日記』
78	遍路と巡礼	小嶋博巳	ノートルダム清心女子大学	2007	全般	『四国遍路と世界の巡礼』（法蔵館）
79	古代の四国遍路	寺内浩	愛媛大学	2007	日本	『四国遍路と世界の巡礼』（法蔵館）
80	「四国遍路」溯源－古語と地名解釈	西耕生	愛媛大学	2007	日本	『四国遍路と世界の巡礼』（法蔵館）
81	コラム日本古代の旅と交通	松原弘宣	愛媛大学	2007	日本	『四国遍路と世界の巡礼』（法蔵館）
82	中世の石手寺と四国遍路	川岡勉	愛媛大学	2007	日本	『四国遍路と世界の巡礼』（法蔵館）
83	四国八十人カ所の成立時期	内田九州男	愛媛大学	2007	日本	『四国遍路と世界の巡礼』（法蔵館）
84	近世演劇にみる四国遍路	河合眞澄	大阪府立大学	2007	日本	『四国遍路と世界の巡礼』（法蔵館）
85	コラム十返舎一九の描いた四国遍路	神楽岡幼子	愛媛大学	2007	日本	『四国遍路と世界の巡礼』（法蔵館）
86	天台山に惹かれた唐人たち	加藤国安	名古屋大学	2007	アジア	『四国遍路と世界の巡礼』（法蔵館）
87	コラム中国聖地・五岳の変遷	藤田勝久	愛媛大学	2007	アジア	『四国遍路と世界の巡礼』（法蔵館）
88	成尋の天台山・五台山巡礼	高橋弘臣	愛媛大学	2007	アジア	『四国遍路と世界の巡礼』（法蔵館）
89	法顕と玄奘のインド行	若江賢三	愛媛大学	2007	アジア	『四国遍路と世界の巡礼』（法蔵館）
90	モンゴル時代の巡礼旅行者たち	矢澤知行	愛媛大学	2007	アジア	『四国遍路と世界の巡礼』（法蔵館）
91	イスラームの巡礼と参詣－エジプトの聖墓参詣を中心に	大稔哲也	東京大学	2007	アジア	『四国遍路と世界の巡礼』（法蔵館）
92	コラムフィリピンにおける聖母マリア崇敬と中国人	菅谷成子	愛媛大学	2007	アジア	『四国遍路と世界の巡礼』（法蔵館）
93	古代ギリシアのエピダウロス巡礼－アスクレピオスの治療祭儀	山川廣司	愛媛大学	2007	ヨーロッパ	『四国遍路と世界の巡礼』（法蔵館）
94	サンティアゴ巡礼	関哲行	経済流通大学	2007	ヨーロッパ	『四国遍路と世界の巡礼』（法蔵館）
95	ウォルシンガムの聖母－近代に復活したイングランドの巡礼地	吉田正広	愛媛大学	2007	ヨーロッパ	『四国遍路と世界の巡礼』（法蔵館）
2008年度						
96	最近の遍路・巡礼研究の動向と特徴	浅川泰宏	埼玉県立大学	2008	日本	H20年度プロ
97	近世における四国諸藩の遍路統制	内田九州男	愛媛大学	2008	日本	H20年度プロ

番号	タイトル	著者	所属	年度	地域・種別	収録報告書等
98	中国“天竺進香”への誘いー1200年の時空を超えた上天竺観音ー	石川重雄	東洋大学	2008	アジア	H20年度プロ
99	第1次世界大戦とイギリス人の戦場巡礼ーベルギーのイーブルへの旅ー	吉田正広	愛媛大学	2008	ヨーロッパ	H20年度プロ
100	中世の高野山参詣と地域権力ー伊予における展開ー	川岡勉	愛媛大学	2008	日本	H20年度プロ
101	四国遍路の周縁における霊場と信仰ー阿波国南部の事例からー	長谷川賢二	徳島県立博物館	2008	日本	H20年度プロ
102	創作された四国へんろ資料『空性法親王四国霊場御巡行記』	小松勝記	高知県立歴史民俗資料館	2008	日本	H20年度プロ
103	四国辺（遍）路における阿弥陀・念仏信仰	武田和昭	香川歴史学会	2008	日本	H20年度プロ
104	資料紹介：二代目長谷川貞信画『金毘羅霊験広報』について	神楽岡幼子	愛媛大学	2008	日本	H20年度活動紹介
105	海外現地調査報告：エジプト・トルコ調査から	大稔哲也	東京大学	2008	アジア	H20年度活動紹介
106	海外調査報告：中国古代の交通路と泰山調査記	藤田勝久	愛媛大学	2008	アジア	H20年度活動紹介
107	海外調査報告：中国山東省泰山調査報告	矢澤知行	愛媛大学	2008	アジア	H20年度活動紹介
108	アメリカにおける史跡整備と巡礼ー日系アメリカ人収容所（跡地）をめぐって	加藤好文	愛媛大学	2008	アメリカ	H20年度活動紹介
109	講演：世界遺産熊野参詣道（熊野古道）について	辻林浩	和歌山県世界遺産センター	2008	日本	H20年度報告書
110	講演：四国遍路とサンティアゴ巡礼	ホビノ・サンミゲル	聖カタリナ大学	2008	全般	H20年度報告書
111	史料紹介：南海道名所志并四国八十八箇所道中記』	内田九州男	愛媛大学	2008	日本	H20年度報告書

表2 研究一覧・地域別

番号	タイトル	著者	所属	年度	地域・種別	収録報告書等	表1の番号
全般							
1	講演：時間と空間からみた巡礼の世界	ジャン・シェリーニ	エクサンプロヴァンス大学法律宗教学研究所	2004	全般	H16年度プロ	21
2	講演：四国遍路とサンティアゴ巡礼	ホビノ・サンミゲル	聖カタリナ大学	2008	全般	H20年度報告書	110
3	講演：世界遺産を巡る諸動向	岡田保良	国士舘大学	2007	全般	H19年度報告書	72
4	遍路と巡礼－その構造比較－	小嶋博巳	ノートルダム清心女子大学	2003	全般	H15年度プロ	1
日本							
5	現代における外国人の目から見た四国遍路	ディビット・モートン	徳島文理大学	2005	日本	H17年度プロ	45
6	フレデリック・スタール（お札博士）と四国遍路	ディビット・モートン	徳島文理大学	2006	日本	H18年度プロ	51
7	巡礼：理想的な世界	ディビット・モートン	徳島文理大学	2007	日本	H19年度プロ	66
8	講演：私と四国遍路研究	ナタリー・クワメ	フランス国立東洋言語文化研究所	2004	日本	H16年度プロ	23
9	四国遍路における接待の「援助性」－文政期・天保期を中心に－	井原恒久	愛媛県立新居浜西高等学校	2006	日本	H18年度プロ	52
10	近世後期における四国遍路の数量的考察－於仏木寺接待の分析－	井上淳	愛媛県歴史文化博物館	2007	日本	H19年度プロ	62
11	納経帳から見た幕末から明治初期の遍路道の変更	稲田道彦	香川大学	2003	日本	H15年度プロ	9
12	四国遍路の巡礼路の景観の特徴	稲田道彦	香川大学	2004	日本	H16年度プロ	33
13	近世演劇に見る順礼の諸相	河合眞澄	大阪女子大学	2003	日本	H15年度プロ	8
14	浄瑠璃に見る四国遍路と巡礼	河合眞澄	大阪女子大学	2004	日本	H16年度プロ	32
15	近世演劇にみる四国遍路	河合眞澄	大阪府立大学	2007	日本	『四国遍路と世界の巡礼』（法蔵館）	84
16	現代の四国遍路－道空間の視点から－	河野昌広	早稲田大学	2006	日本	H18年度プロ	47
17	巡礼と救済－四国遍路とその他の巡礼との比較の視点から－	河野昌広	早稲田大学	2007	日本	H19年度プロ	65
18	県下の公共資料館などが所蔵する四国遍路関係資料－その保存と活用－	宮瀬温子	愛媛県歴史文化博物館	2006	日本	H18年度プロ	53
19	遍路宿の建築調査より－伝えるべき歴史文化財－	犬伏武彦	松山東雲短大	2005	日本	H17年度プロ	46
20	近世期の『へんろ』と村社会－往来手形と日記を通して－	山本秀夫	香川県立文書館	2003	日本	H15年度プロ	10
21	遍路と村社会－送りと迎への論理から－	山本秀夫	香川県立文書館	2004	日本	H16年度プロ	30
22	四国遍路の形成について	寺内浩	愛媛大学	2003	日本	H15年度プロ	6
23	平安時代の四国遍路	寺内浩	愛媛大学	2004	日本	H16年度プロ	29
24	古代の四国遍路	寺内浩	愛媛大学	2007	日本	『四国遍路と世界の巡礼』（法蔵館）	79
25	創作された四国へんろ資料『空性法親王四国霊場御巡行記』	小松勝記	高知県立歴史民俗資料館	2008	日本	H20年度プロ	102
26	六十六部廻国とその巡礼地	小嶋博巳	ノートルダム清心女子大学	2004	日本	H16年度プロ	28
27	遍路と巡礼	小嶋博巳	ノートルダム清心女子大学	2007	全般	『四国遍路と世界の巡礼』（法蔵館）	78
28	古代の民衆交通－古代国家の交通規制と民衆の交通権について－	松原弘宣	愛媛大学	2004	日本	H14～16年度科研報告書	16
29	コラム日本古代の旅と交通	松原弘宣	愛媛大学	2007	日本	『四国遍路と世界の巡礼』（法蔵館）	81
30	十返舎一九作『金草鞋』「第十四編四国偏路」について－『四国偏礼道指南増補大成』との関連を中心に－	神楽岡幼子	愛媛大学	2004	日本	H14～16年度科研報告書	14
31	コラム十返舎一九の描いた四国遍路	神楽岡幼子	愛媛大学	2007	日本	『四国遍路と世界の巡礼』（法蔵館）	85

番号	タイトル	著者	所属	年度	地域・種別	収録報告書等	表1の番号
32	資料紹介：二代目長谷川貞信画『金毘羅靈験広報』について	神楽岡幼子	愛媛大学	2008	日本	H20年度活動紹介	104
33	「四国辺路」異見	西耕生	愛媛大学	2004	日本	H14～16年度科研報告書	13
34	平安文学語彙にみる「辺路（へぢ）」の周辺	西耕生	愛媛大学	2004	日本	H16年度プロ	31
35	「四国遍路」遡源－古語と地名解釈	西耕生	愛媛大学	2007	日本	『四国遍路と世界の巡礼』（法蔵館）	80
36	中世の寺社参詣と地方権力	川岡勉	愛媛大学	2003	日本	H15年度プロ	7
37	コメント日本史	川岡勉	愛媛大学	2004	日本	H16年度プロ	34
38	中世の石手寺と四国遍路	川岡勉	愛媛大学	2007	日本	『四国遍路と世界の巡礼』（法蔵館）	82
39	中世の高野山参詣と地域権力-伊予における展開-	川岡勉	愛媛大学	2008	日本	H20年度プロ	100
40	歩くことの効用について考える－生理学的知見から－	浅井英典	愛媛大学	2007	日本	H19年度プロ	61
41	響振する苦しみ－ある女性遍路にみる<救い>の構築プロセス	浅川泰宏	明治大学	2006	日本	H18年度プロ	50
42	「巡礼と救済－四国遍路と世界の巡礼－」シンポジウム・研究集会に参加して	浅川泰宏	明治大学	2007	日本	H19年度プロ	63
43	最近の遍路・巡礼研究の動向と特徴	浅川泰宏	埼玉県立大学	2008	日本	H20年度プロ	96
44	聞き取り調査より探る現代の四国遍路	竹川郁雄	愛媛大学	2006	日本	H18年度プロ	48
45	阿波の巡礼とその資料	長谷川賢二	徳島県立博物館	2003	日本	H15年度プロ	11
46	四国遍路の周縁における霊場と信仰-阿波国南部の事例から-	長谷川賢二	徳島県立博物館	2008	日本	H20年度プロ	101
47	講演：世界遺産熊野参詣道（熊野古道）について	辻林浩	和歌山県世界遺産センター	2008	日本	H20年度報告書	109
48	願掛け・参詣・遍路（巡礼）	内田九州男	愛媛大学	2003	日本	H15年度プロ	2
49	近世の巡礼者たち－往来手形と身分－	内田九州男	愛媛大学	2004	日本	H16年度プロ	22
50	四国遍路と作法の変遷	内田九州男	愛媛大学	2005	日本	H17年度プロ	39
51	高知県の町（旧本川村）所在鰯口銘文の紹介と検討－八十八ヶ所成立論根拠資料の再吟味－	内田九州男	愛媛大学	2006	日本	H18年度プロ	54
52	コメント：四国遍路の観点から	内田九州男	愛媛大学	2007	日本	H19年度プロ	57
53	史料紹介：資料紹介・『奉納四国中辺路之日記』	内田九州男	愛媛大学	2007	日本	資料紹介・『奉納四国中辺路之日記』	77
54	史料紹介：遍路絵図	内田九州男	愛媛大学	2007	日本	H19年度報告書	76
55	四国八十人カ所の成立時期	内田九州男	愛媛大学	2007	日本	『四国遍路と世界の巡礼』（法蔵館）	83
56	近世における四国諸藩の遍路統制	内田九州男	愛媛大学	2008	日本	H20年度プロ	97
57	史料紹介：南海道名所志井四国八十八箇所道中記』	内田九州男	愛媛大学	2008	日本	H20年度報告書	111
58	四国辺（遍）路における阿弥陀・念仏信仰	武田和昭	香川歴史学会	2008	日本	H20年度プロ	103
59	西国巡礼－その歴史と信仰－	北川央	大阪城天守閣	2007	日本	H19年度プロ	56
60	現代ツーリズムと四国遍路－「まちづくり」「アウトドア」への展開	野崎賢也	愛媛大学	2006	日本	H18年度プロ	49
61	熊野参詣路の庶民扶助について	鈴木景二	富山大学	2007	日本	H19年度プロ	55
62	講演：石見銀山の世界遺産登録と学術研究	脇田晴子	城西国際大学	2007	日本	H19年度報告書	71
63	コメント西洋史	関哲行	経済流通大学	2004	全般	H16年度プロ	36
ヨーロッパ							
64	観光」としてのサンティアゴ巡礼	関哲行	流通経済大学	2004	ヨーロッパ	H16年度プロ	26
65	コメント	関哲行	流通経済大学	2005	全般	H17年度プロ	41
66	サンティアゴ巡礼	関哲行	経済流通大学	2007	ヨーロッパ	『四国遍路と世界の巡礼』（法蔵館）	94

番号	タイトル	著者	所属	年度	地域・種別	収録報告書等	表1の番号
67	イングランド宗教改革と巡礼の消滅	吉田正広	愛媛大学	2003	ヨーロッパ	H15年度プロ	12
68	20世紀イングランドにおける巡礼の復活－ウォルシンガムの聖母－	吉田正広	愛媛大学	2004	ヨーロッパ	H16年度プロ	25
69	ウォルシンガムの聖母－近代に復活したイングランドの巡礼地	吉田正広	愛媛大学	2007	ヨーロッパ	『四国遍路と世界の巡礼』（法蔵館）	95
70	海外調査報告：第一次世界大戦戦没者追悼と巡礼－ロンドン「大巡礼」とイーブル「戦場巡礼」	吉田正広	愛媛大学	2007	ヨーロッパ	H19年度プロ	69
71	第1次世界大戦とイギリス人の戦場巡礼－ベルギーのイーブルへの旅－	吉田正広	愛媛大学	2008	ヨーロッパ	H20年度プロ	99
72	古代ギリシアのエピダウロス巡礼－アスクレピオスの治療祭儀	山川廣司	愛媛大学	2004	ヨーロッパ	H16年度プロ	24
73	海外調査報告：サンティアゴ巡礼調査の日程およびその概要	山川廣司	愛媛大学	2007	ヨーロッパ	H19年度報告書	73
74	海外調査報告：古代ギリシアの巡礼地歴訪	山川廣司	愛媛大学	2007	ヨーロッパ	H19年度プロ	70
75	古代ギリシアのエピダウロス巡礼－アスクレピオスの治療祭儀	山川廣司	愛媛大学	2007	ヨーロッパ	『四国遍路と世界の巡礼』（法蔵館）	93
76	中世ヨーロッパのキリスト教巡礼－聖地と救済－	山代宏道	広島大学	2007	ヨーロッパ	H19年度プロ	59
77	海外調査報告：サンティアゴ・デ・コンポステーラと大聖堂	菅谷成子	愛媛大学	2007	ヨーロッパ	H19年度報告書	74
78	古代末期のキリスト教巡礼の諸相	足立広明	奈良大学	2007	ヨーロッパ	H19年度プロ	58
79	ゲミレル島遺跡と巡礼活動	中谷功治	関西学院大学	2003	ヨーロッパ	H15年度プロ	3
80	問題提起	渡邊昌美	高知大学名誉教授・西洋中世史	2003	ヨーロッパ	H15年度プロ	5
81	海外調査報告：サンティアゴ巡礼調査に参加して－その仕組みを考える－	内田九州男	愛媛大学	2007	ヨーロッパ	H19年度報告書	75
82	海外調査報告：Canterbury Walsingh Elyを訪ねて	木下卓	愛媛大学	2007	ヨーロッパ	H19年度プロ	68
	アジア						
83	濟州4・3をめぐる巡礼－無辜な死を悼む旅路－	伊地知紀子	愛媛大学	2007	アジア	H19年度プロ	60
84	中国の霊山と癒し	加藤 國安	愛媛大学	2003	アジア	H15年度プロ	4
85	霊山と癒し－中国の南岳をめぐる－	加藤國安	愛媛大学	2004	アジア	H16年度プロ	27
86	天台山に惹かれた唐人たち	加藤國安	名古屋大学	2007	アジア	『四国遍路と世界の巡礼』（法蔵館）	86
87	霊山と癒し－中国の南岳をめぐる－	加藤國安	愛媛大学	2004	アジア	H14～16年度科研報告書	18
88	東南アジアの港市国家におけるイスラームの展開と巡礼－	弘末雅士	立教大学	2005	アジア	H17年度プロ	42
89	成尋の天台山・五台山巡礼と宋朝の対応	高橋弘臣	愛媛大学	2004	アジア	H14～16年度科研報告書	15
90	成尋の天台山・五台山巡礼	高橋弘臣	愛媛大学	2007	アジア	『四国遍路と世界の巡礼』（法蔵館）	88
91	カイラス巡礼－宗教的見地から－	黒木幹夫	愛媛大学	2005	アジア	H17年度プロ	38
92	法顕と玄奘のインド行	若江賢三	愛媛大学	2007	アジア	『四国遍路と世界の巡礼』（法蔵館）	89
93	スペイン植民地都市マニラ・ピノンドの中国人とカトリック信仰	菅谷成子	愛媛大学	2004	アジア	H14～16年度科研報告書	20
94	スペイン領フィリピンにおけるカトリック信仰	菅谷成子	愛媛大学	2005	アジア	H17年度プロ	43
95	コラムフィリピンにおける聖母マリア崇敬と中国人	菅谷成子	愛媛大学	2007	アジア	『四国遍路と世界の巡礼』（法蔵館）	92
96	伝統中国の巡礼－宋元時代における接待・施水庵の展開－	石川重雄	東洋大学	2005	アジア	H17年度プロ	40

番号	タイトル	著者	所属	年度	地域・種別	収録報告書等	表1の番号
97	「接待」考—シンポジウムに寄せて—	石川重雄	東洋大学	2007	アジア	H19年度プロ	64
98	「中国杭州市域における宋代史跡ならびに“天竺進香”調査報告」について	石川重雄	東洋大学	2007	アジア	H19年度プロ	67
99	中国“天竺進香”への誘い—1200年の時空を超えた上天竺観音—	石川重雄	東洋大学	2008	アジア	H20年度プロ	98
100	イスラームの参詣と巡礼—エジプトの聖墓参詣を中心に—	大稔哲也	九州大学	2005	アジア	H17年度プロ	37
101	イスラームの巡礼と参詣—エジプトの聖墓参詣を中心に	大稔哲也	東京大学	2007	アジア	『四国遍路と世界の巡礼』（法蔵館）	91
102	海外現地調査報告：エジプト・トルコ調査から	大稔哲也	東京大学	2008	アジア	H20年度活動紹介	105
103	中国古代の旅と巡礼	藤田勝久	愛媛大学	2004	アジア	H14～16年度科研報告書	17
104	コラム中国聖地・五岳の変遷	藤田勝久	愛媛大学	2007	アジア	『四国遍路と世界の巡礼』（法蔵館）	87
105	海外調査報告：中国古代の交通路と泰山調査記	藤田勝久	愛媛大学	2008	アジア	H20年度活動紹介	106
106	コメント東洋史	矢澤知行	愛媛大学	2004	アジア	H16年度プロ	35
107	モンゴル時代の交通ネットワークと巡礼—イスラーム世界とのかかわりを中心に—	矢澤知行	愛媛大学	2004	アジア	H14～16年度科研報告書	19
108	モンゴル時代のチベット仏教に関する研究史的考察	矢澤知行	愛媛大学	2005	アジア	H17年度プロ	44
109	モンゴル時代の巡礼旅行者たち	矢澤知行	愛媛大学	2007	アジア	『四国遍路と世界の巡礼』（法蔵館）	90
110	海外調査報告：中国山東省泰山調査報告	矢澤知行	愛媛大学	2008	アジア	H20年度活動紹介	107
	アメリカ						
111	アメリカにおける史跡整備と巡礼—日系アメリカ人収容所（跡地）をめぐって	加藤好文	愛媛大学	2008	アメリカ	H20年度活動紹介	108